

発議第15号

日米FTA（自由貿易協定）に反対する意見書

標記について、会議規則第14条の規定に基づき提出する。

平成21年12月18日提出

提出者 高山市議会議員 牛丸 尋 幸

賛成者 高山市議会議員 伊 寫 明 博
若 山 加代子

日米F T A（自由貿易協定）に反対する意見書

農産物の輸入が増え、米価が下落するなかで、農家経営が続けられない事態が急速に広がっている。農業と農村の再生にいま最も必要なのは、農家が安心して生産にはげめる条件を整えることである。価格保障や所得補償を抜本的に充実し、農産物輸入自由化をストップすることは急務である。

その点で、いま問題となっている日米間のF T A（自由貿易協定）は、農産物の輸入自由化で農業の崩壊につながることは必至であり、農業関係者から強い反対の声が出されている。農産物輸入自由化を根本から見直し、「食料主権」を保障する貿易ルールを確立することが求められている。

現在、日本の農業を守り、食糧自給率を向上させることは、世界的な食糧危機から言っても重要となっている。さらに、日本一広い面積の高山市では、農業は地域経済を支える重要な基幹産業であるとともに、農村集落を再生するためにも、農業の果たす役割は重要となっている。

よって、国におかれては、日本農業を壊滅に導く日米F T A交渉を行わないことを強く要求する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年12月18日

高 山 市 議 会